

湘南高校NOW

1. 湘友会新会員

平成10年3月の卒業式で、全日制398名、定時制167名、通信制413名に卒業証書が授与されました。湘友会の規定に従い全日制と定時制は卒業生全員が、通信制は希望者が新会員となります。

2. 湘南高校の現状

全日制は、現在各学年10クラス、1クラスの生徒数は40名ほどで昔に比べるとゆったりしています。男女の比率はほぼ半々で、クラスによっては女子の方が多いところもあります。50回生ぐらいまでのOBは驚かれるのではないでしょう。

全日制の生徒諸君の気質や行動については、質実剛健の気風が次第に薄れ、他校の生徒と大差なくなっていますが、数多い行事に熱心に取り組む姿勢や部活動が盛んな点は昔のままです。昨年度も、フェンシング部が女子団体で県新人戦に優勝したのをはじめ、各部が大いに活躍しております。

大学合格状況では、近年いくつかの私立高校に差をつけられている感があるのは残念ですが、学区の縮小や入試制度の改革などの影響もあるため、生徒諸君だけを責めるのは酷でしょう。昨年度も、神奈川県立高校に限れば、東大・一橋大・慶大・上智大・青学大などの大学で最多の合格者を出しました。

古くは、湘南高校全日制の生徒は遠距離通学生が多いことが特徴でしたが、近年は次第に減っています。それに伴い、自転車通学の生徒が増え、現在では半数を超えています。このため、新校舎には最新式の駐輪場が設置され、利用されています。

定時制は、1学年のみ4クラス、他学年は3クラスで、360名ほどの生徒が在籍しており、男女の比率は大体2対1です。定時制の生徒は藤沢市を中心に、全県から通学しており、神奈川出身が多い中で、他県や外国出身の生徒も数多く在籍しております。彼らは、アルバイトを含めると、ほぼ半数が就業者で多忙な日々を送っていますが、熱心に勉学に励んでおり、部活動などにも良好な成績を収めております。

通信制に在籍する生徒は、個人生が3000余

名、少工校生が700名ほどです。個人生は全日制の生徒と同世代の者が大半ですが、成年者も2割ほどおります。日曜を中心に定期・不定期のスクーリングが組まれている他、放送を利用した授業も行われています。少工校生の体育クラブは、全国的な活躍をするものが多く、昨年度はバレー・バスケット・剣道・ソフトボール・卓球などの通信制大会で優勝を果たしました。

このように、湘南高校は全・定・通の3課程の生徒が在籍しているものの、旧校舎の時代とは異なり、定・通はA棟、全はB棟に教室が分かれています。それぞれの課程相互の生徒交流はほとんどありませんが、昔同様、6月に行われる文化祭だけは3課程の合同で行われます。

平成10年度行事予定(全日制)

4月6日	始業式・着任式
7日	入学式
8日	離任式・対面式
23日	陸上記録会(平塚競技場で)
5月13日	浦高戦(湘南高校で)
29日	前期中間試験(6月3日まで)
6月20・21日	文化祭
7月14日	合唱コンクール (茅ヶ崎市民文化センター)
18日	終業式
9月1日	始業式
3日	前期期末試験(8日まで)
20日	体育祭
10月20日	2年修学旅行 (24日まで京都・奈良方面)
11月27日	後期中間試験(12月3日まで 3年は学年末試験)
12月24日	終業式
1月8日	始業式
2月末～3月始め	後期期末試験
3月10日頃	卒業式
25日	終業式

文化祭や体育祭などは、見学自由です。どうぞおいでください。ただし、合唱コンクールについては、会場の座席の都合で見学をお断りしております。ご了承ください。

(校内幹事 長澤郁夫 49回生)

天野・長谷川先輩の遺志を継ぐ

湘友会 元長 山本 敏

元長の天野先生（1回）に続いて、元藤沢支部長の長谷川先生（20回4期）がじんくられた。その偉大な人格生涯は、おれら後輩の奇しく誇りとし、心から敬慕してゐる。

天野先生の母校湘友会の尽力は、湘友会会長だ。22年間かけてではない。1回生して入学された。九二年から逝去されるまで71年間に及ぶ。母校の卒業生には、寒い中を早々と出席された。昨年のは珍しいお見えになられたことが、既にお加減が悪かったものであろうか。また、文化祭の折りには楽しんで時間をかけて後輩や作品や催し物を観てまわられた。また後輩の相談や依頼にはいつも誠意を尽かされたのである。

長谷川先生は上りの病院の経営を引き継がれ、性格のりヒューマンな運営をなさた。これに聞いて、藤沢支部として、支部の活性化のため努力された。長身短足の弱々しい先生の、どこにあるアライメントがそんでいたのか、私は全案策の折の先生の情熱行動に打たれた。湘友会は校舎建築の対策委員を組織し、学校建築部長の長谷川孝教授（22回）を招いて意見を伺い、PTAの委員会でも講演してもらった。設計者が決まると設計者と懇話。長谷川文部長と、亀子子々崎支部長（20回）の肝入りで、茅ヶ崎市で建設協会の開き、設計者と長谷川教授が専門部門意見交換の機会がもてられた。その他、地元茅ヶ崎の餅屋・番場黒糖に働きかけるなど、ふだん静かな長谷川先輩の、どこに驚いた情熱がかくされていくのか驚かされた。

くお受け入れになり、却って弁護士として出発する私を励まして下さいました。その時先生の温顔は、終生忘れぬ記憶として私の脳裏に鮮明に残っております。また、先生は今では私のお話に同行した時、旅先上奥様の江崎海苔から丸いお菓子の兄弟をばり先生に贈るの江崎海苔が偶然豆腐の病院にお話するところができた感謝され、先生にお目にかかるとのこと。先生は、最高級料理退官後は、丸ビルの事務所に移されお通いのなにかおられたので、同じ丸の内事務所のあか私とはお目にかかるとの機会があったかと思つた。或る政治家の事件で、わざわざ私の事務所をお訪ねなされたことかと思ひのつてあります。申すまでもないですが、先生の法曹としての目の輝かしくは感入したものであります。

先生は鎌倉師範附属小学校から中学に入学されました。師範附では、小学生の間にサッカーをやつておりました。先生は中学に入学されたサッカー部を創設されたと同じくあります。以来サッカーは湘南中学の校技となり、生徒役がサッカーをやる伝統になつております。現在のサッカーチームを先生はどんな目で見ておられたのでしょうか。

先生は戦後の混乱期である昭和24年から昭和47年まで、実に23年間に亘り湘南中学校長である湘友会の会長として会の発展に尽力されました。先生が第一回の卒業生として巣立られた湘南中学校も戦後高校となり、定時制・通信制の生徒も含めると卒業生の数三万五千名を超える大規模な同意会に発展いたしました。昨年70周年を記念し、

校舎落成式での天野先生



藤沢支部会の長谷川先生



校舎も一新いたしました。これも一重に先生が同窓会長として永年力を貸して下さった賜物であります。又私共法曹も時時代裁の裁判長であった鈴木深君が中心となり、先生を会長に戴いて、裁判官・検判官・弁護士・学者が揃つて法務研究会を発足させました。この会も、千数年間先生に会長を引き受けていただきました。発足当初〇名定年のメンバー。現在では、修習生を含め約一四〇名に増えたとしました。本年四月、藤田耕二裁判官が最高裁判官を定年官立された機に開催した法務湘友会を先生は先ずおられた。出席になられ、健康上の理由で会長を辞退し、後進に後を託したいとのご挨拶がありました。私共法曹に先生は幾多の性格・後輩に対する厚い思い遣りとご配慮に感謝し、先生の一日も早いご快癒をお祈りいたします。

後輩連、同、今日の別れの目を迎え断腸の思いであります。日頃先生の温言に接し、先生の暖かい御前に感謝を察いたしました。私共は我々としては、我々の指図であつた先生の指図をしっかりと銘記し、法曹として又湘友会として先生の名を辱めないよう努力して下さることをお願いし、心から先生のご冥福をお祈りする次第であります。最後に白鳥氏の作詞した湘南中学の校歌を朗読してお別れの言葉といたします。



もう一人の御前に接するとはできない。しかし母校を訪れたとき永夫先生の脱履の潔な題字や、横文、墨影の校歌、銅版の校歌集・校報等、天野先生の人柄にのみ出た良書と筆蹟に接することができた。また通商・新校舎は多くの方々の厚意の結果であるが、その底に長谷川先生の渾身の情熱があることを忘れてはならぬ。我々は時に母校を訪れて、両先輩を偲ぶたいものだ。

天野武夫先生に捧ぐ弔辞

平成元年12月5日 江橋 英五郎（1回生）

謹んで故天野武夫先生の、重なる弔辞を申し上げます。鄙みですと先生とは昭和25年春、私が修習を終るまでと先生とは昭和25年春、私が人事課長であるおられた先生を人事課長にお訪ねした時から先輩としてお付き合いをさせていただくようになりました。先生は湘南中学第一回の卒業生であり、伝統校である神奈川・中神中に追いつき追い越せと言われた上、赤松太郎校長より、我が母校の第一回卒業生に天野武夫、ありと聞かれ、私は中学時代より先生のお前と先生が中学時代より秀才であったことを聞き及んでおりました。又先生は、昭和47年に湘友会の会長であられたので、先輩として失礼を申しお訪ねしたわけであります。と申すものは、私事を申し上げて恐縮であります。私は修習後と同時に検察官を志しましたが、弁護士に変更することとなり、天野人事課長のもとにお訪ねに参上したわけであります。先生は後輩の善行と非礼を快

亡父天野武一葬儀に際しのお礼の言葉

喪主 天野和司（同生）

皆様から、亡き父に対して多分の善意を賜り、誠にありがとうございました。

父は、二度結婚した大きな悪性の腫瘍が見つかりました。直ちに切除いたしました。手術そのものは大成功で、一旦普通の生活に戻れたのでございますが、既にあらゆる、痛くなつておりました。痛が痛でございまして、痛くなつた苦しさは、ないのでございますが、ついに一度も痛とは言わずに最後は静かに静かに息を引き取りました。父は、元素として家族の意見にはなかなか耳を貸してくれず、近所のお医者さんの助にも容易には従わぬ、頑固な一面をもつておりました。

と、私がこのように申しても、恐らく皆様は「そんな善い人が」と、賛同して下さらないであろうと存じます。しかし、父は人の国家公務員として、また晩年の弁護士としての仕事を通して、私心私利のいっさいもなかったものであろう、と息子の私は信じておりました。ございまして、生前、皆様から賜りました厚意に對しまして、ここに改めて厚くお申し上げます。

支部だより

藤沢支部 平成9年9月6日(土)

藤沢市民会館第一展示ホールにて、午後6時より総会(夏の集い)を開催。元藤沢市中央図書館長湯山学氏(29年定3卒)の講演「毛利元就に相模武士の生きざまをみる」を聞き勉強した後、立食パーティーとなり、旧交を暖め、最後にビンゴゲームを楽しみ午後9時に散会致しました。出席された方約百名、招待者20名の集いでしたが、盛会に終わり「来年も逢いましょうフレイフレイ湘南」と湘友会会長杉山氏のエールで幕を閉じました。

平成10年、今年も9月5日(土)に同じ場所、同じ時を予定しています。36回生でソプラノ歌手の真木千重子さんの「日本の歌曲」を企画致しました。藤沢在住の方のみならず、湘南OBの方の多数の来場をお待ちしております。会費は、6千円でお料理はますますですし、盛りだくさんでお楽しみいただけると思います。夏の一夜を楽しく過ごそうではありませんか。

茅ヶ崎支部 平成9年11月23日(日)

午後4時から阿部浅本店を会場にして総会を開いた。総会の後、21世紀を前に「世界と日本の情勢」と題して、元共同通信社主幹の原寿雄氏の講演。氏の令息は湘友会会員ということもあってか熱を込めて、会員が最も知りたい内容を細かに説いて、感銘を与えた。同支部の毎回の講師と内容

の素晴らしさに感心。懇親会に入り、バンドリーダー・米山英美君(30回)のハワイアン演奏。興にのって杉山会長、和田27期会会長と次々に登場して拍手を浴びた。

平塚支部 平成9年12月6日(土)

6時よりプレジールでの支部総会。役員各回幹事の努力が実って、水戸市から鴨志田(田曾)君(23回)、「一宮町から清水明君(23回)」等も見え、70余名の多彩な会合となった。珍しく曽我達君(19回)が顔を見せて近況を語り、珍しい顔も見えて盛り上がる。樋口君(27回・元スプリンター)が先輩の細谷支部長と合唱、有志が応援歌の音頭をとり次々に合唱の輪が広がる会となった。

鎌倉支部 しばらくぶりの総会を開催します

平成5年の総会以来、毎年幹事会を開いてきたが、今年の幹事会で今年の8月1日(土)に鎌倉芸術館で総会を開催することになった。鎌倉・逗子・葉山在住の関係者の大勢の総会出席により、鎌倉支部の活動活発化が期待される。参加申し込みは左記へはがき・電話FAXで7月15日までに、
〒220-0001 港区虎ノ門一・一〇〇
虎ノ門実業会館4階 湘ハート財産バートナーズ
湘友会鎌倉支部事務局 林 弘明
TEL〇三・三三九九・一五三八
FAX〇三・三三九五・一五三九

西日本支部 平成9年11月30日(土)

午後4時より会場福屋(35回鈴木君経営)にて第6回総会。先ず井上支部長の挨拶、本部から2

年ぶり来阪の澤参与の母校の現況・55回正木君朝日放送・お天気博士)の話、16回樋口君の音頭で乾杯、自己紹介、懇談となった。約30名が参加、変わったところでは特別会員が1名、福屋常連の若い弁護士柴川君(大手前高校、湘南卒の司法試験受験生がお世話になっている由、又今回飛び入りの押し掛け会員は28回一花君の令夫人、この美人の奥様の提案で来年からすべての会員は、夫妻同伴OKと全会一致で決定、8時30分に閉会、福屋の前で記念撮影の後、2次会は隣のカラオケスナックへ、10時過ぎ散会となった。

西日本支部事務局局長鈴木慶正君(35回)の横顔

昭和36年2浪中に父上が大がけをし、それが原因で、大学進学を断念して地元の横浜市役所へ勤務、大阪市役所へ出張の折、親戚筋のうどんすきの老舗「美々卯」に宿泊させてもらった。横浜へ帰って間もなく「美々卯」から、うちへ来ないか?との誘い。「調理の世界に自分の将来を賭けてみよう」と二つ返事で大阪へ。主として経理と板前の修業を約20年、昭和60年に独立し現在の地に福屋を開業、安くて旨い料理、明るいい性格、後輩の面倒見の良さと盛盛している。平成3年春、現支部長の井上・露木(30回)等の諸兄と湘友会西日本支部を結成、事務局長となる。平成4年11月に第1回総会を開催、以後毎年福屋を会場に11月に会合を持つ。夫人、長男、それにお手伝いと家族一体で営業中、湘友会会員の方々は来阪の折りはぜひ福屋へ立ち寄ってみて下さい。高校時代から変わらない鈴木君の姿と安くて旨い料理に舌鼓を打つことを保証します。

湘南紳士録 荒間蒼海 第35話

ひまわり菩薩 森敬(26回)



模範生年26回に転入―カメラと水泳と友達と

いろいろ湘友会

霞ヶ関湘友会 平成10年2月27日(金)

霞ヶ関閣内では、霞ヶ関及びその周辺の省庁（その
 霞ヶ関仲間）は、裁裁り成りひき合計帳
 の付属機関、衆参両院事務局、裁裁り成りひき合計帳
 査院を含む）に勤務している者（他に出向している
 者を含む）更にかつて勤務していた者によって構成し
 ており、昭和四十四年に定足し、今国会が第七回の
 会となった。当目は、会員49名が出席し、恩師の
 先生万名をお慰めし、大盛況であった。会員は、
 12省庁等から判じたり、統計27二名の勢力であ
 ることが判じたり。（西川智 51回生）

福祉倶友会 福祉を携へたる若年学生生の集り
福祉倶友会が昨年1月に発足した。15生から68生に達する約80名の員がある。福祉を限らずに、何らかの形福祉に関する思惟を成し、職業や地域活動に關つていろいろな場合、広く

呼びかけ、親睦、交流、研修の場として少くも、
とのこと、親睦、交流、研修の場として少くも、
異なるが、湘友会、湘南高校にクラスとなる活動
を指している。7月24日、清明会館、研修と
懇親の会を開催する。問、問合わせ、連絡は
1977年春まで、05(1) 8625、06(7) 41、8315
湘友会、地理研(平) 平成10年(2) 28日
母校清明会館で8年ぶりの縁を再開、歴代の
顧問、先生を招き、同窓会でのO.Dが縁勢、名
の出席、会則制定、役員計画、事業計画、予算
を決めた後、翌年、その後、今回別働隊のす
りながら行なわれ、伊豆半島温泉果て温泉に
行ながら行なわれ、伊豆半島温泉果て温泉に

トビックス

機軸では上は上回、第12回生 渡邊治雄
現在では上は上回部、一般的ですが、昭和初期では団体生徒と分けて、鉄棒等の器具を使用する場合は機軸部として称していました。

昭和七年7月に団体部が完成し、これを脱つて模範高商現況に体育課があら、昭和八のロスオレシエンの体育講習から、下屋原屋敷の下、田嶋、山崎、鷺沢、大栗等が来校して模範演技と披露し、先生達に感銘を与えました。その折、部員に赴つて渡邊、西山が、今考へる冷や汗もの、のびねた技を行なつた。これに先立つて、ロスオレシエンの代表選手も、この折後後の体育部長、武田、角田氏等が、運動場の隅に鉄棒で妙技を見せ、体育講習が見学、博覧会に際して、これに刺激されて、体操部

湘友会事務所開設のご案内

湘友会の事務所が開かれてから1年余りが経とうとしている。事務所には、月・水・金の午後1時～4時の間担当が詰めており、会の事務に当たっている。広さは約30平方メートル、十数人の会議が可能である。同期会やクラス会、支部の打ち合わせなどに大いに使いたい。

申し込み、お問い合わせは事務所まで。
251-0053 藤沢市本町3-1-3 湘南ビル301
電話・FAX 0466-50-0386
(湘友会事務所へのご案内)

場所には藤沢駅から湘南高校へ行く道の途中にある。藤沢駅から湘南高校へ向かって昔の湘南通りをまっすぐくぐり、と養老院前の交差点がある。その交差点を更に湘南高校方向へ向かうと、小田急線のガードがあり、そこをくぐりぬけたすぐ左側に神奈川トヨタの営業所がある。その真向かいの建物の3階が湘友会の事務所である。新築の白いタイル貼りで、道に面したガラス窓に青で「湘友会」と書いてあるのですぐ分かるはずである。

として倉部の話が持ち上がったのが始まりです
女性棋士ががんばってます

開基。将棋の世界で、若手女棋士の活躍が立っている。将棋は男界と違ひ、女性にも一人もプロ養成機関開奨励会を突破できないが、実力は年々あがっている。これら若手女性棋士軍団の中心に湘南女子がある。その人の名は、50回生の皆さるは中田なづな。その人の名は、高校卒業後棋士になった決心を決めた角と評される。我が校として、女性棋士三強の一角と評される。我が校として、黒色の卒業生に大きなエールを送らうではないか

編集部より

- ※ホスナールの会報、いわかたではようが。多面から寄せられる記事原稿を、ひたすら入力すると膨大な頁数になって、それから12頁に縮めるとか大変でした。省略部分をご容赦ください。
会報を存続していたら是非ボランティアを募って頂きたいです。湘芸会事務所までご連絡ください。
※湘芸会直連提携しておりませんが、同窓生の間ではE-Mailのネットワークがあります。インターネットご利用の方は参加してみてもいいサガ。E-Mailで Ma.jorodon@shonkan.mil.or.jp 宛に下記のコマンドを。
subscribe(shonkan@shonkan.mil.or.jp) (あなたのメールアドレス) end

お願、

- ※住所変更があったら必ず書面で湘友会事務所までお知らせ下さい。通信費の節約につながります。
※同期会やクラス会などの報告原稿をお寄せ下さる場合は、締め切り3月30日（毎年）です。
※会員諸氏の活躍情報をお知らせ下さい。特に今まで手薄だった女子会員の活躍を多岐にお知らせしたいと思ひます。他郷自薦を問わず歓迎します。

希薄にしてください。原稿スタイルは自由ですが、必ずA4版用紙を使用してください。また、写真は裏に会合名と日付を書いた上で、原稿の裏面にセロテープ等で仮止めしてください。このルールをお守りいただいた原稿は、事務局のファイルに保存しておきます。会報に載せる文面の省略や写真の取舍は、紙面の都合で編集部の一存とさせていただきます。

第40号の編集7タリフ

添田徳清 7 / 澤昌男 22 / 堀田晴子 28 / 二宮毅 30 / 鈴木直人 36 / 宮代昭子 36 / 大谷昌夫 37 / 長瀬和夫 49